

西寺尾第二小学校「体育・健康プラン」

西寺尾第二小学校 学校教育目標

～「夢・希望・活力ある学校作りを目指します」～

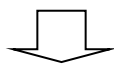
- 自ら学び続け、自分の考えをもち、自分の考えを深める子を育てます。(知)
- 自分も友だちも大切にし、思いやりのある子を育てます。(徳)
- 心と体を鍛え、元気で明るい子を育てます。(体)
- 地域の人々との関わりを深め、地域の人とものを大切にし、共に生きる子を育てます。(公)
- 様々な社会の変化に柔軟に対応できる子を育てます。(開)

《西寺尾第二小学校 児童の体育・健康面の姿》

- 日常の授業では、自分自身で目標を決め、その技能の習得に向けて練習を繰り返す児童が多い。
- 1人ひとりというよりは、友だちと教え合い、高め合う姿が見られる。
- 休み時間は外で遊ぶ子どもは多いが、遊ぶ種目は限られている。
- 体を動かすことに楽しさを感じている児童が多い反面、まったく運動しない児童もいる。

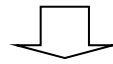
《西寺尾第二小学校 体育・健康に関する指導の目標・方針》

- ◎運動に親しむ資質や能力を育て、健康の保持増進と体力の向上を図り、明るく豊かな生活を営む態度を育てます。
- 豊かな心の育成【ルールを守るなどの規範意識・礼儀を大切にする態度・思いやりの心】
- 健康でたくましい体の育成【自己の心や体への関心・進んで体力の向上に努める態度】



《体育科での取組》

- 「捕る」「投げる」「走る」など基本の動きの習得に力を入れる。
 - 友だちと見合ったり、教え合ったりしながら学習を進めていけるようにする。
 - 進んで健康づくりのできる子を目指し、児童が主体となり、学校生活の中で健康問題や課題を見つけ、解決していけるよう知識の習得や態度の形成がはかれるようにする。
- ☆国語、社会、理科、生活、家庭科(食育)など他教科との関連も図る。



《他領域での取組》

【学校行事】

- ◎第二小オリンピック ◎第二小フェスティバル
- ◎宿泊体験学習 ◎大掃除 ◎健康診断
- ◎市体育大会(6年) ◎区球技大会(5年)

【道徳】

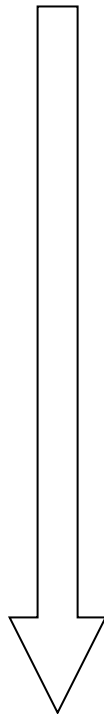
- 「生命尊重」 「健康保持増進」 「安全の確保」
- 「身の回りの清潔整頓」 「環境の清潔美化」

【特別活動】

- ◎ふれあいハッピー班 ◎クラブ活動

【総合的な学習の時間】

- ◎地域 ◎環境



《その他の取組》

- ◎給食のあとの歯みがき指導(年間) ◎夏季特別水泳クラブ
- ◎児童保健委員会を中心とした「学校保健委員会」の開催と内容の周知
- ◎児童保健委員会による「早寝、早起き、朝ご飯」、「歯みがき」の推奨
- ◎集会委員会によるたてわり集会での運動遊び
- ◎給食委員会による「給食週間」「ま・ご・わ・や・さ・し・い・」の推奨

平成30年度 西寺尾第二小学校 体力向上1校1実践運動

〈名称〉運動委員会による体育的集会の充実【朝会でのラジオ体操・長縄跳び・ドッジボール大会】

〈ねらい〉運動機会を確保し、運動の楽しさを味わい、運動の日常化を図る。

〈内容〉スポーツ委員会の児童が体育的集会を企画・運営し、内容と取組の充実を図る。

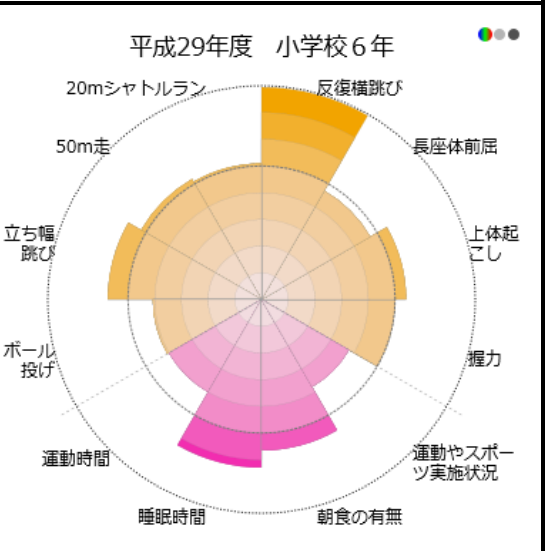
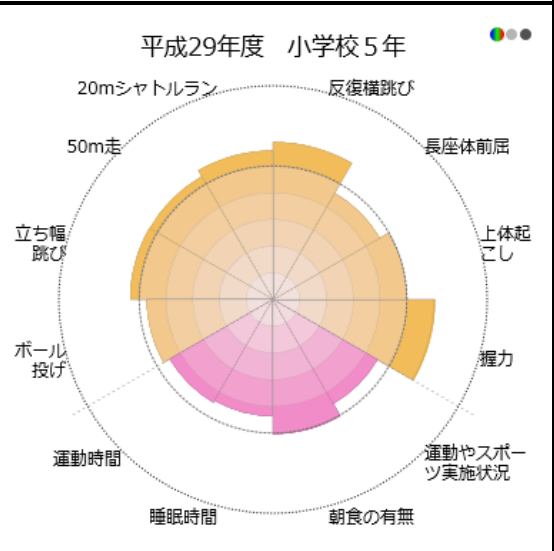
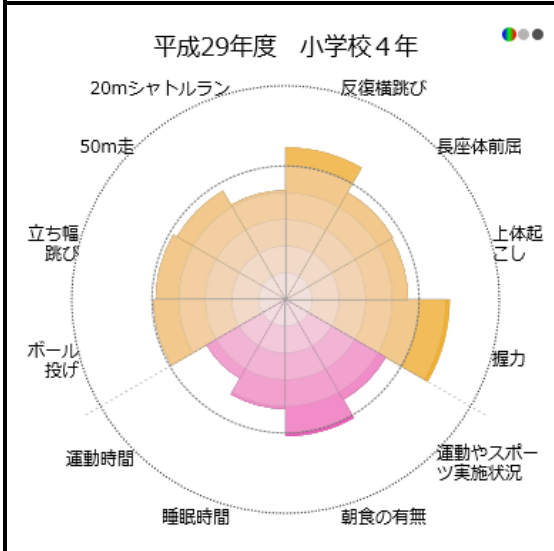
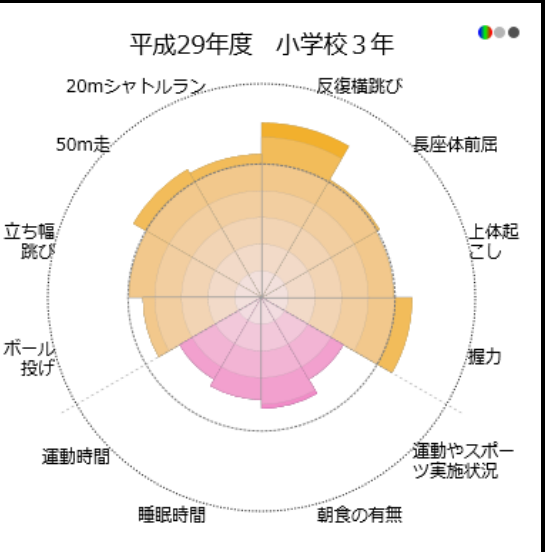
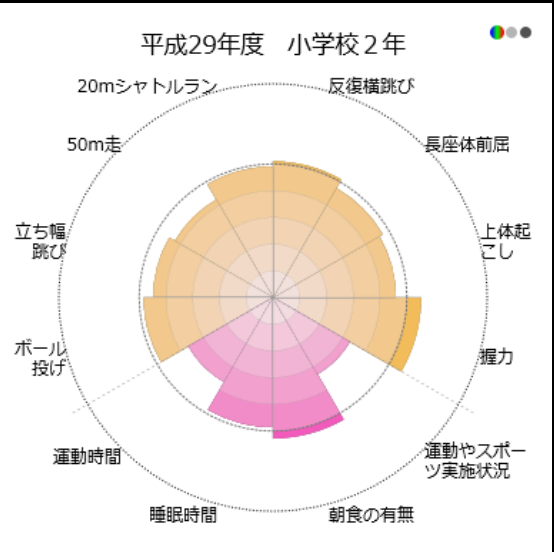
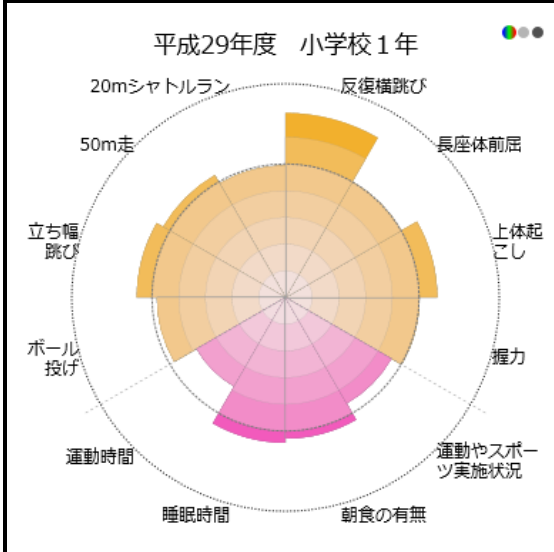
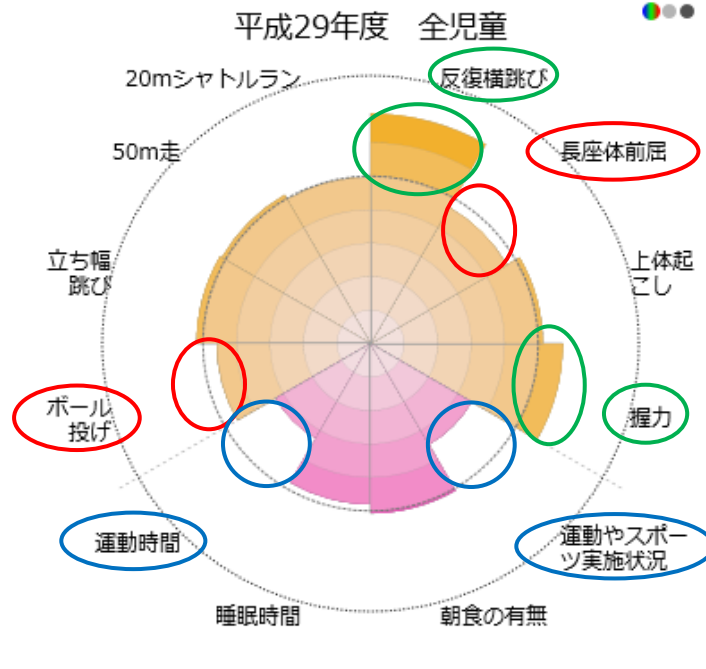
《第1学期》①朝会ラジオ体操(柔軟性) ②長縄跳び大会(敏捷性)

《第2学期》①朝会ラジオ体操(柔軟性) ②長縄跳び大会(敏捷性) ドッジボール大会(投力)

《第3学期》①朝会ラジオ体操(柔軟性) ②長縄跳び大会(敏捷性) マラソン週間(持久力)

●指標：①体カテスト ②取組の振り返り ③生活実態調査

平成29年度 横浜市体力・運動能力調査【西寺尾第二小学校】



【結果】

- どの学年も、ボール投げ（投力）、長座体前屈（3年生以外）の記録が横浜市の平均を下回っている。
- どの学年も、運動やスポーツの実施状況、運動時間が少ない。
- どの学年も、反復横跳び（敏捷性）、握力の記録が横浜市の平均を上回っている。
- 学年により、優れている運動能力、劣っている運動能力が違う。

【考察】

- 体育の学習で、投げる力の基礎・基本をしっかり教え、運動集会、休み時間等で、継続的に投げる力を養う取り組みを行っていかなければならない。また、ボール運動の経験の差が男女や個人により差が大きいので、全校で取り組んでいく必要がある。
- 柔軟性を養うために、朝会でのラジオ体操において、柔軟性を高めるために必要な動きを指導する。また、ラジオ体操ではなく、ストレッチ運動なども取り組み、柔軟性を高める取り組みも考えていきたい。
- 調査の結果を全校職員で共有し、学年体育での重点化した指導を行っていく。